



第 1349 回例会報告

平成26年1月23日(木)晴れ

会長挨拶

会長 平山隆勇

新会員のために

1月はロータリー理解推進月間です。ロータリーを一般の人たちに知って頂き、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図るためには、まず、私達ロータリアンがロータリーを知ることが大切です。

今月の「ロータリーの友」にはその特集が組まれていますので、新しい会員は勿論、ベテラン会員も是非お読みください。

記事の中に昨年の12月に行われた第42回ロータリー研究会のレポートが載っています。この研究会の対象者はガバナー、パスト・ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニー、その配偶者、ガバナー補佐などですが、国際ロータリー会長ロン D.バートン氏も出席されています。

この記事の中で印象に残ったバートン会長のお話の一部を紹介します。詳しくはご自分で読んで下さい。

《バートン会長の記念講演で分かった意外な事実》
バートン会長が入会したのは32歳の時だったそうです。随分若い年齢での入会だと思いますが、ご本人は「もっと早い段階で入会できたと思いますが、勧誘されませんでした。」と述べられたそうです。

入会后しばらくは何もすることがなく、例会から足が次第に遠のいて出席率を満たすことができず、とうとう退会してしまいました。しかし、次年度のクラブ会長からロータリー財団委員長を務める

ように言われたことからクラブに復帰し、そのことが、自分がただの会員からロータリアンになった瞬間であったと話されています。

その様な体験からバートン会長は勧誘の大切さとともに、「単に誰かを誘うだけではなく、その人が真のロータリアンになるまで面倒をみるのが大切」というお話しをなさっています。これは私を含め、今年度新会員を推薦した会員にとって大変重い言葉だと言えます。新会員にとって良き指導者、理解者となれるように努力して参りましょう。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- 1) 船を贈呈した「蘇る諏訪湖」から感謝状をいた

<p>■出席報告</p> <p>会員数 38名 出席対象 36名 出席者数 28名 出席率 77.8% 前回修正 77.8%</p>	<p>■ニコニコBOX</p> <p>22名 23,000円 累計 664,000円 目標額 130万円 達成率 51.1%</p>
<p>■今週のことば</p> <p>諏訪市境から500m下諏訪町に入ったところを基地として諏訪郡一円を生活圏としております。本日は諏訪市長にお越しいただいたことを厚く感謝申し上げます。お話を楽しみにしております。 長崎政直</p> <p>TV信州「夕がたゲット」で松澤さんの下駄スケートの雄姿と渡辺さんの「カジェッタ」が紹介され、見てうれしかったです 溝口幸二</p>	<p>■次回のプログラム</p> <p>2月6日 外部講師卓話 職業奉仕委員会</p>



いただきました

2)小諸ロータリークラブからピアノ65台が集まっている旨連絡がありました。小諸RCの例会日に長崎副委員長がいただきに上がります。

3)来週は理事会です

【受領文書】

岡谷エコーロータリークラブからウィークリーが届きました。

地区国際奉仕委員長委嘱状伝達

2600地区から渡辺芳紀会員を2014-2015年度地区国際奉仕委員長に委嘱する旨の委嘱状が届きましたので、会長より伝達がありました。渡辺会員本年に引き続きご苦労様です。



第1349回例会

諏訪市長新春卓話

担当 クラブ奉仕委員会

本日は、新春卓話として諏訪市山田勝文市長さんにお出でいただき、「安心・安全のまちづくりをするために 諏訪市の災害と危機管理」に関わるお話をしていただきました。

・霧が峰高原草原再生事業について

草原景観を維持整備するためには、霧が峰高原は国定公園になっているので県の許可が必要。複雑な事務手続きを経て平成13年より雑木処理として火入れを行なって7年目となる。しかるに今回4月28日には、突然の突風による飛び火で延焼、10haのところ220haに燃え広がってしまっ

た。近隣県より防災ヘリ出動要請5機、自衛隊ヘリ1機などの援助で約7時間後に鎮火。

草原景観維持には何もしていないと森林化するので、各機関と連携を密にし、より慎重に進めていかねばならない。



・諏訪湖の花火について

8月初旬～9月上旬にかけてのサマーナイトフェスティバル、8月15日の諏訪湖上花火大会、9月5日の新作花火大会など催してきているが、今回の第65回湖上花火大会は局地的暴風雨により中止の止む無きに至ってしまった。交通機関が全てストップし多くの帰宅難民が溢れた。市民センター、片羽保育園、上諏訪中学校など開放。民間の施設にも協力してもらい懸命の対応にあたった。

・平成18年7月豪雨災害

国道20号線が冠水のため37時間にわたって通行止めとなり、中央高速も閉鎖のため長距離便のトラックが方々で立ち往生。バイパスの促進が必須。

・平成21年8月局地豪雨災害

局地的に100ミリを超える降雨量で土石流も発生。川沿いの住民が流れの異変を事前に察知、直ぐ市へ通報してくれて対応に役立った。

・今後諏訪市で想定される災害

南海トラフによる地震災害。糸魚川静岡構造線地震災害。

どんな災害にたいしても、先ず自分の身を守ること(自助)、次に周りへ手を差し伸べ共に助け合う(共助)、そして日頃から3日分の飲み水を用意しておくこと。(取材 近江誠一会員)